

すずかけヘルスケアホスピタル広報誌

PLATANUS

Vol.23
Autumn 2018

Suzukake healthcare hospital Quarterly Magazine 【すずかけの樹】



当院の取り組み

～誤嚥性肺炎予防の取り組み～

平成28年より誤嚥性肺炎の重症化を予防するために“誤嚥性肺炎減らそう隊”の活動をしています。日頃から誤嚥性肺炎を予防していただくために、誤嚥や誤嚥性肺炎とは何かについてお話しします。

誤嚥ってなに？

わたしたちが嚥下（飲み込む動作）をすると、通常なら食道を通して胃に入っていくのですが、なんらかの理由で、食べ物や飲み物、唾液が肺や気道に入り込んでしまうことがあります。これを「誤嚥」といいます。

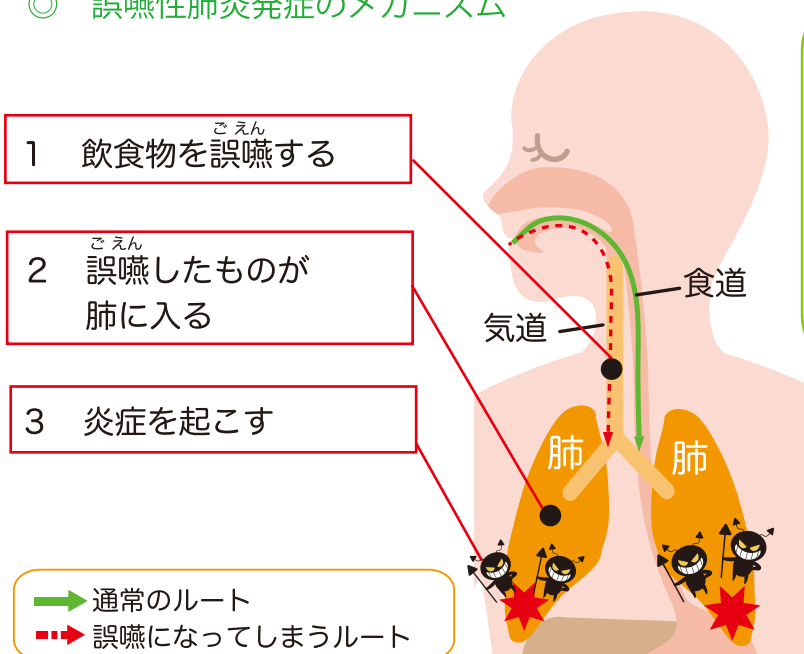
誤嚥性肺炎とは…

食べ物・唾液を誤嚥し、お口の中の細菌も肺に流れ込むことで生じる肺炎です。胃液や胃の中のものが逆流（胃食道逆流）しても起こります。重症化すると死にも至ることがあります。

◎ このような原因があると、誤嚥性肺炎のリスクが高まります。

- 飲み込む機能の低下がある。
- 唾液量の減少により、お口の中の細菌が増加している。
- お口の中の管理が不十分である。
(歯磨き不足・入れ歯の不具合・むし歯や歯周病を治療していないなど)

◎ 誤嚥性肺炎発症のメカニズム



※ 口から食べ物を摂取できない人でも、口の中の細菌や胃液などが逆流して誤嚥性肺炎になってしまうことがあります。お口の中の細菌は大便にいる細菌数より多いといわれています。

このように、お口の健康状態と誤嚥性肺炎は、深く関わりあっています。

お口の中はいつもきれいにしておくことが大切です。



流行期に備えた感染予防

～マスクのお話～

役立つ情報 感染対策



© SARAYA CO., LTD.

マスクは正しく着用しましょう

呼吸器分泌物に含まれる病原微生物を遮断するマスク。でも正しく使用しないと十分な効果を発揮できません。



SARAYA

© SARAYA CO., LTD.

咳が出るときやインフルエンザ流行時期などに使用するマスク。正しく着用しないとその効果は期待できません。個人差はありますが、1回の咳では約10万個の病原体を含んだしぶきが2m～3m飛び、それを周囲の人が吸い込んだり、手についたしぶきが口から体内へ入るなどして感染が広がっていくとされています。使用時は鼻～顎までを隙間なく覆いましょう。使用済みのマスクは咳やくしゃみで飛んだしぶきが付着しています。使用後は新しいものに交換し、マスクを捨てた後に手洗いをしましょう。マスクを正しく着用して「うつらない」「うつさない」「ひろげない」ようにしましょう。

《インフルエンザに関する情報》は

- ・静岡県健康福祉部 感染症関連情報
<http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ad/kansensyoujyouhou.html>
- ・厚生労働省 インフルエンザ総合対策
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/>
- ・国立感染症研究所 感染症情報センター
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/a/flu.html>

などを参考に、最新の情報を入手して予防に役立ててください。

検索



© SARAYA CO., LTD.

歯科コラム

～歯周病と認知症の関係～

● 歯科医師 桃子先生のワンポイントアドバイス!

今回は歯周病と認知症の関係についてお話します。アルツハイマー型認知症は脳の神経細胞の中にアミロイドβというたんぱく質の「ゴミ」がたまり神経細胞が死滅することが原因の一つと考えられています。

歯周病菌の毒素がこの「ゴミ」を増やし、認知症を悪化させるのです。

認知症発症のリスクを軽減させるためにも歯周病を防ぐことと治療は大切です。



すずかけインフォメーション



地域交流
健康イベントのお知らせ

日付	行事	主催
10.28 (日)	南交流センターまつり	南交流センター
11. 4 (日)	竜洋地区まつり	竜洋地区社会福祉協議会
11.10 (土)	すずかけフェスタ	すずかけヘルスケアホスピタル
12. 1 (土)	第4回すずカフェ	すずかけヘルスケアホスピタル

10月後半から12月初旬までの期間で、当院スタッフが参加する地域イベントをまとめました。

地域の皆様の要請に応じて、専門職による出張講座を実施しております。お気軽にお問い合わせください。

※ 参加の希望や開催地・時間等に関しましては、主催者にお問い合わせください。

すずかけフェスタ

11/10(土)

時間：9：30～14：30

会場：すずかけヘルスケアホスピタル

今年のテーマはこちら



地域の皆とつながり隊！



外来担当表

診療科	診療時間	月	火	水	木	金
脳神経外科・内科 リハビリテーション科	8:30～12:00		久野			久野
脳神経外科・内科 認知症相談	8:30～12:00			西川		西川
整形外科・リウマチ科 リハビリテーション科	月・水 8:30～12:00 火・金 10:00～12:00	草部	草部	草部		草部
内科	9:00～12:00	井口				
リハビリテーション	午前	●	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●	●
禁煙外来 完全予約制	14:00～16:00		久野			

※学会出席等で、担当医師変更や休診となる場合があります。
 ※休診日：土曜日、日曜日、祝祭日、GW5/3～5/5・年末年始12/30～1/3
 ※診察には事前予約が必要となります。お電話にて予約をお願いいたします。
 ※火・木の脳神経外科・内科は**完全予約制**となります。ご了承ください。
 ※火・金の整形外科・リウマチ科は**完全予約制**となります。ご了承ください。

■ 病院概要

回復期リハビリテーション病棟(106床)・医療療養病床(54床)・労災保険医療機関指定・日本脳ドック協会認定施設・日本リハビリテーション医学会研修施設・日本認知症学会専門医教育施設・日本医療機能評価機構認定病院・主たる機能：「リハビリテーション病院」3rdG:Ver1.0・副機能：「慢性期病院」3rdG:Ver1.0



日本医療機能評価機構
認定病 JC1941号

■ 日本医療機能評価機構認定病院とは

質の高い医療サービスを提供していくために、第三者機関である、公益財団法人・日本医療機能評価機構が専門的な見地から中立的・客観的な評価を行い、全ての評価項目が認定基準を満たし、認定証が発行されている病院です。



すずかけ ヘルスケアホスピタル

http://www.suzukake.or.jp/healthcare/ E-mail:healthcare@suzukake.or.jp
 〒438-0043 静岡県磐田市大原2042-4 TEL:0538-21-3511

診療科・医師紹介

脳神経外科	病院長 久野 智彦 脳神経外科・リハビリテーション科 日本脳神経外科学会専門医 日本リハビリテーション医学会認定専門医 日本リハビリテーション医学会指導医 義肢装具等適合判定医師
整形外科	副院長 草部 拓馬 整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科 日本整形外科学会認定専門医 日本リウマチ学会認定専門医 日本リハビリテーション医学会認定専門医 日本リハビリテーション医学会指導責任者 義肢装具等適合判定医師
脳神経外科	常勤 西川 方夫 脳神経外科 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会認定専門医 日本リハビリテーション医学会認定臨床医 日本認知症学会専門医 認知症サポート医
リハビリテーション科	常勤 高橋 麻美 リハビリテーション科 日本リハビリテーション医学会認定専門医 義肢装具等適合判定医師
内科	非常勤 井口 恵介 循環器内科・総合内科 日本内科学会認定総合内科専門医 日本循環器学会認定循環器専門医
リハビリテーション科	非常勤 蓮井 誠 リハビリテーション科 日本リハビリテーション医学会認定専門医 日本リハビリテーション医学会指導責任者 義肢装具等適合判定医師
歯科	非常勤 横小路 桃子 歯科 日本口腔外科学会口腔外科専門医 歯科医師臨床研修指導医 日本アンチエイジング歯科学会認定医 インフェクションコントロールドクター 日本化学療法学会抗菌化学療法認定歯科医師

※歯科の外来診療は行っておりません。 平成30年10月現在

